令和５年度

環境経営レポート

活動期間　令和５年４月～令和６年３月

資材倉庫屋上に設置した太陽光パネル（平成 26 年３月）

株式会社 増田勇建設

令和６年４月２５日発行

１．環境経営方針

株式会社 増田勇建設

環 境 経 営 方 針

今日の環境問題は、水質汚濁や廃棄物の増大などの問題にとどまらず、地球温暖化やオゾン層の破壊など地球環境にまで影響し、私たち人類の生活に深く関わる重大なものとなっており、その解決に向けて取り組まなければなりません。

私たちは、建設・土木工事の事業活動における環境負荷の低減を図るために、全従業員一丸となって環境保全活動に取り組みます。

＜環境保全への行動指針＞

１．具体的に次のことに取り組みます。

① 二酸化炭素排出量の削減（電気・燃料）
② 建設・土木資材の省資源、廃棄物の３Ｒ（減量、再使用、再生利用）の推進
③ 上水道の削減
④ 環境配慮工事の推進
⑤ 地域貢献活動

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

２．環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

３．環境経営方針は全従業員に周知するとともに、社外に公表します。

制定日：平成１９年１２月　１日
改定日：令和　５年１２月１９日

代表取締役　増田 勇一郎

2．組織の概要

1．名称及び代表者名

株式会社 増田勇建設

代表取締役 増田 勇一郎　　※令和５年 12 月に代表者変更

2．所在地

本　社　：〒891-0109　鹿児島市清和２丁目 12 番 16 号

資材置場：〒891-0109　鹿児島市清和２丁目 21 番 31 号

3．環境管理責任者及び連絡先

環境管理責任者：羽生 尚子（総務部部長）

連絡先：電話 099-268-5426　FAX 099-268-5540

E-mail：masuda.soumubu@po2.synapse.ne.jp

HP：https://masuda-isami.jp/

4．法人設立：昭和 49 年１月

5．資本金：３１百万円

6．事業内容

①建設業：1. 許可番号：鹿児島県知事　許可(般・特-5)第 2806 号

有効期限：令和５年 12 月 24 日～令和 10 年 12 月 23 日

業　　種：土木、建築、とび・土工、石、ほ装、水道施設工事業

管工事業

②産業廃棄物収集・運搬業（EA21 認証登録対象外）

1. 許可番号：04600056582 号

有効期限：令和５年 10 月 20 日から令和 10 年 10 月 19 日

種　　類：廃プラスチック類，ゴムくず，金属くず，ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず，がれき類，汚泥，紙くず，木くず，繊維くず

以上９種類の収集及び運搬

7．事業の規模

活動規模		単位	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
売上高		百万円	207	211	234	309
産業廃棄物運搬量	受託運搬量	t	0	0	0	0
	自社運搬量	t	483	482	833	401
産業廃棄物量		t	483	482	833	401
従業員		人	10	14	13	14
本社床面積		㎡	100	100	100	100
本社敷地面積		㎡	200	200	200	200
資材置場敷地面積		㎡	1,427	1,427	1,427	1,427

※特記事項：売上高は６月１日から翌年５月 31 日の完成工事高を記載

8．EA21 活動年度：毎年４月１日～翌年３月 31 日

３．認証・登録の対象組織・活動

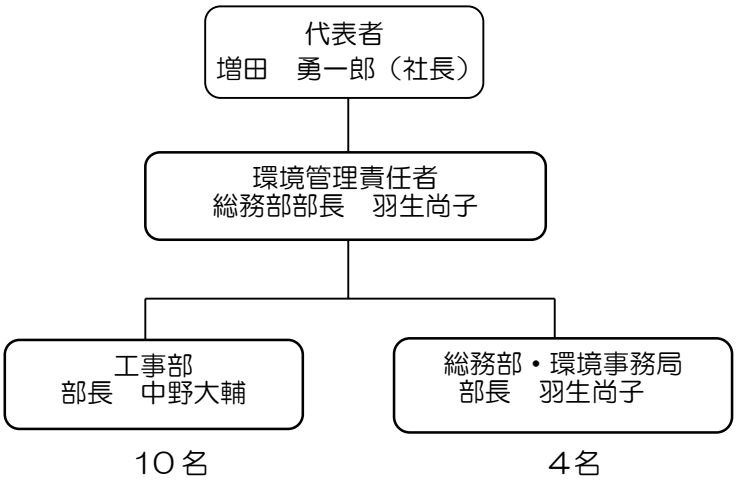
1．認証・登録事業者：株式会社 増田勇建設　住所：鹿児島県鹿児島市清和２丁目 12 番 16 号

2．認証・登録対象活動範囲：土木工事業、舗装工事業、建築工事業、水道施設工事業、
管工事業、とび・土工工事業

3．関連事業所：なし

4．対象外組織：なし

４．組織図



5．目標・実績

1．環境負荷の過去４年分実績

項　目		単 位	令和２年度 R2.4～R3.3	令和３年度 H3.4～R4.3	令和４年度 R4.4～R5.3	令和５年度 R5.4～R6.3
電力	電力使用量	kWh	8,262	8,693	9,677	7,889
	二酸化炭素排出量	kg-CO_2	3,214	3,382	3,764	3,069
化石燃料	ガソリン使用量	L	3,623	2,668	3,662	2,778
	軽油使用量	L	18,783	20,339	18,424	11,507
	化石燃料計	L	22,406	23,007	22,086	14,285
	二酸化炭素排出量計	kg-CO_2	56,867	58,668	56,031	36,649
二酸化炭素排出量合計		kg-CO_2	60,081	62,050	59,795	39,718
産業廃棄物排出量		t	483	519	833	401
水使用量		m^3	284	312	429	454

※電力の二酸化炭素調整後排出係数：九州電力令和３年度 0.389 kg-CO_2/kWh に遡って算出

2．令和５年度環境目標及び実績

評価：○ 達成　× 未達

項　目		単 位	令和 2～4 年度平均	令和５年度 （R5.4～R6.3）		
			基準年度	目標値	実　績	評 価
電力	電力使用量削減	kWh	8,877		7,889	○
	二酸化炭素排出量削減	kg-CO_2	3,453	3,419 △1%	3,069 -11.1%	
燃料使用量量削減：エコドライブ自己チェックリスト達成率		%	８０%	８０%	88% 目標達成率 118%	○
建設現場副産物の３R 産業廃棄物リサイクル率向上		t %	資源化/排出量 ﾘｻｲｸﾙ率 95%	― ﾘｻｲｸﾙ率 95%	397/401 ﾘｻｲｸﾙ率 99%	○
上水道の削減 地下水使用率向上		m^3 %	地下水/水合計 ６９%	66%	337/454 74% 目標達成率 112%	○
事業の環境配慮：環境取組チェックリスト達成率向上		%	84%	83%	92% 目標達成率 111%	○
地域清掃の実施		回／年	12	12	12 目標達成率 100%	○

※電力の二酸化炭素調整後排出係数：九州電力令和３年度 0.389 kg-CO_2/kWh に遡って算出

太陽光発電量（売電用） 二酸化炭素削減効果	kWh kg-CO_2	35,090 13,650	―	34,357 13,365	―

※電力の二酸化炭素調整後排出係数：九州電力令和３年度 0.389 kg-CO_2/kWh に遡って算出

6．令和５年度環境活動計画

1．二酸化炭素排出量の削減	1）電力使用量の削減（節電の徹底） ① 冷暖房の温度設定、冷房 28℃、暖房 20℃の温度設定を徹底する。 ② 不要時・休憩時間は照明の消灯を実施する。 ③ OA 機器のこまめの OFF を実施する。 ④ エアコンフィルターの掃除を実施する。
	2）燃料使用量の削減（「エコドライブ１０のすすめ」の実践） ① アイドリングストップを実施する。 ② 車間距離を守り、急発進、急加速、急停車をしない。 ③ 冷暖房の控えめの使用を実施する。 ④ 過積載をしない。 ⑤ 車両使用の効率化(運行ルートの効率化)を実施する。等
	3）太陽光発電売電による CO_2 削減効果をカーボンオフセットとみなし、社内の電力、車燃料の CO_2 排出量の削減を図る。40kW（一般家庭の約 13 倍）
2．廃棄物排出量の削減	1）一般廃棄物の削減 ① 裏紙の使用を実施して、紙資源の節約に努める。 ② 両面印刷の徹底と縮小印刷機能の活用に努める。 ③ コピー機使用後リセットの徹底に努める。 ④ 分別を徹底し一般ゴミの削減を推進する。
	2）建設現場副産物の 3R の推進（リサイクル 95%の推進） ① 分類別に保管場所を設定し、リサイクルの徹底に努める。 ② 再生、再利用可能な業者の情報収集に努める。 ③ 産業廃棄物の適正処理を徹底する。
3．地下水比率向上	節水の徹底 ① 生活用水の節水意識の向上(無駄な使用の排除など)に努める。 ② 車両・建設機械の洗車・洗浄時の節水の徹底に努める。 ③ 地下水を優先的にしようする。
4．環境配慮工事の推進	① 工事現場ごとに環境への取り組みチェックリストにて達成率をチェック。
5．地域貢献活動	① 周辺の道路清掃活動を実施する。 ② 清掃時はあいさつ運動も展開する。 ③ 地域ボランティア活動等へ積極的に参加する。 ④ 環境セミナー等に積極的に参加する。

7．令和５年度取り組み結果の評価と令和６年度の取り組み

1） 二酸化炭素排出量の削減

二酸化炭素の削減では、太陽光発電（パネル 172 枚、40kW 平成 26 年 3 月資材倉庫屋上設置）による効果 13,365 ㎏-CO_2 をカーボンオフセットとして、当社電力＋燃料使用時の排出量 39,718 ㎏-CO_2 の 34%を相殺する事が出来ました。来年度も 20%以上のカーボンオフセットを目指したいと思います。令和 4 年 12 月から開始された太陽光発電の出力制御がどのように影響しているかはまだ不明の為様子を見ていこうと思います。

2） 電力使用量の削減

今年度は 11.1%削減となり目標を達成することができました。不要時・休憩時間等の照明の消灯、OA 機器のこまめの OFF、冷暖房の温度管理の励行等徹底はしていましたが、大幅な削減理由としては、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の影響を受けなくなったことだと思われます。

引き続き、できる限りの削減に努めます。

3） エコドライブ自己チェック

エコドライブチェックリスト（10 項目）を作成し、毎月 1 回社員が自己チェックをしています。
今年度は若干内容を変更しましたが、意識が定着しており、今年度も目標を達成しました。
令和 6 年度も引き続き安全運転に気を付けてエコドライブに励みます。

4） 廃棄物排出量削減

産業廃棄物はリサイクル目標 95%に対し 99%で目標達成しました。分別等を徹底し、リサイクル化や再利用や有価処分等へ取り組みました。
ダンボール・アルミ缶は町内会の廃品回収に出し、ペットボトルのキャップは中学校へ寄付している事で地域貢献にも繋がっています。
令和 6 年度も分別やリサイクルの徹底を図る取り組みを推進します。

5） 地下水比率向上

令和 2 年度より地下水比率を計測しています。
水の使用量は前年より 5.8%上がりましたが、地下水を優先的に使用し、地下水の比率は 74%と目標を達成することができました。
引き続き令和 6 年度も漏水確認チェックや節水の徹底を図り、地下水使用率を上げて、目標達成を目指します。

6）建設現場での環境配慮工事の推進

工事ごとに環境への取組チェックリストを作成し、
・エネルギーの効率的利用及び日常的なエネルギーの節約
・建設機械及び設備機器の適正管理
・温室効果ガスの排出抑制、大気汚染の防止等 34 項目をチェックしました。
細かくチェックをする事で環境配慮を意識することができています。
令和 6 年度も現場での環境配慮への意識を高く持ち目標達成を目指します。

7）地域清掃活動

会社周辺の道路、公園の清掃や空き缶ひろいを始め様々なボランティア活動をしています。
公園の遊具チェックは子供たちが安全に遊べるように必須の為、丁寧に取り組んでいます。
安心・安全で美しく住みよい地域社会に貢献できるボランティア活動に今後も積極的に関わっていきます。

8．3ヵ年目標（令和6年度～8年度）

項　目		単 位	令和3年～5年平均	令和6年度	令和7年度	令和8年度
			基準値	目標値	目標値	目標値
電力	電力使用量削減	kWh	8,753	8,665	8,578	8,490
	二酸化炭素排出量	kg-CO_2	3,405	3,371 △1%	3,337 △2%	3,303 △3%
燃料使用量量削減：エコドライブ自己チェックリスト達成率		%	(88%)	80	80	80
建設現場副産物の3R 産業廃棄物リサイクル率向上		%	(ﾘｻｲｸﾙ率 100%)	95%	95%	95%
上水道の削減 地下水使用率向上		%	(77%)	66	67	68
事業の環境配慮：環境取組チェックリスト達成率向上		%	(92%)	85	86	87
地域清掃の実施		回	12	12	12	12

※電力の二酸化炭素調整後排出係数：九州電力令和３年度 0.389 kg-CO_2/kWh に遡って算出

9．環境関連法規の順守状況

1．法的義務を受ける主な環境関連法規は次の通りです。

適用される法規制	適用される主な内容	適用される施設等
廃棄物処理法	一般・産業廃棄物の分別 保管管理、処理委託契約 マニフェスト管理	一般廃棄物 建設副産物（産業廃棄物）
建設リサイクル法	対象建築物の届出、再資源化の実施 実績報告、記録の作成	新設工事 解体改修工事
フロン排出抑制法 （H27.4 施行）	業務用エアコンの簡易点検推進（3 基） 廃棄時フロン回収：許可業者委託引取証明書発行と保管	事務所空調設備 1・2F 2.74kW　資材置場内道場 外部業者点検不要
自動車リサイクル法	購入時のリサイクル料支払い 廃棄時の販売・専門業者委託処理とリサイクル料の支払い	社用車
家電リサイクル法	廃棄時の適正業者委託処理と委託時のリサイクル料の支払い	事務所冷蔵庫、テレビ、家庭用エアコン

2．環境関連法規のチェック

令和６年４月 25 日に法令遵守状況を確認した結果、遵守できています。

3．違反・訴訟の有無

環境関連法規の違反は無く、過去３年間にわたり、行政からの指摘、指導等はありません。また、周辺住民からの苦情も無く、訴訟についてもありません。（令和６年４月 25 日現在）

１０．代表者による見直しの結果

令和５年度の環境活動総括として令和６年４月２５日に社長の見直し評価会議を開催しました。

今年度はようやく新型コロナウイルス感染拡大防止対策の影響から解放されたことで、全ての項目で目標を達成することができました。

エコアクションを始めて 10 年以上が経過し、二酸化炭素排出量の削減や上水道使用量の削減については、どうしても工事量に左右される為、数字での目標設定が難しくなってきています。

そこでエコドライブ自己チェックや地下水使用比率の向上等新しい取り組みを始めて ４ 年が経過しました。今年度はエコドライブチェック項目を若干変更し、社員一人ひとりがますます意識を高くもち取り組むことができました。

散水車やバキュームカーの導入で水の使用量は上がってしまっていますが、従業員の負担も軽減され、現場での生産性の向上となっております。

引き続き省エネを徹底し推移を確認していきます。

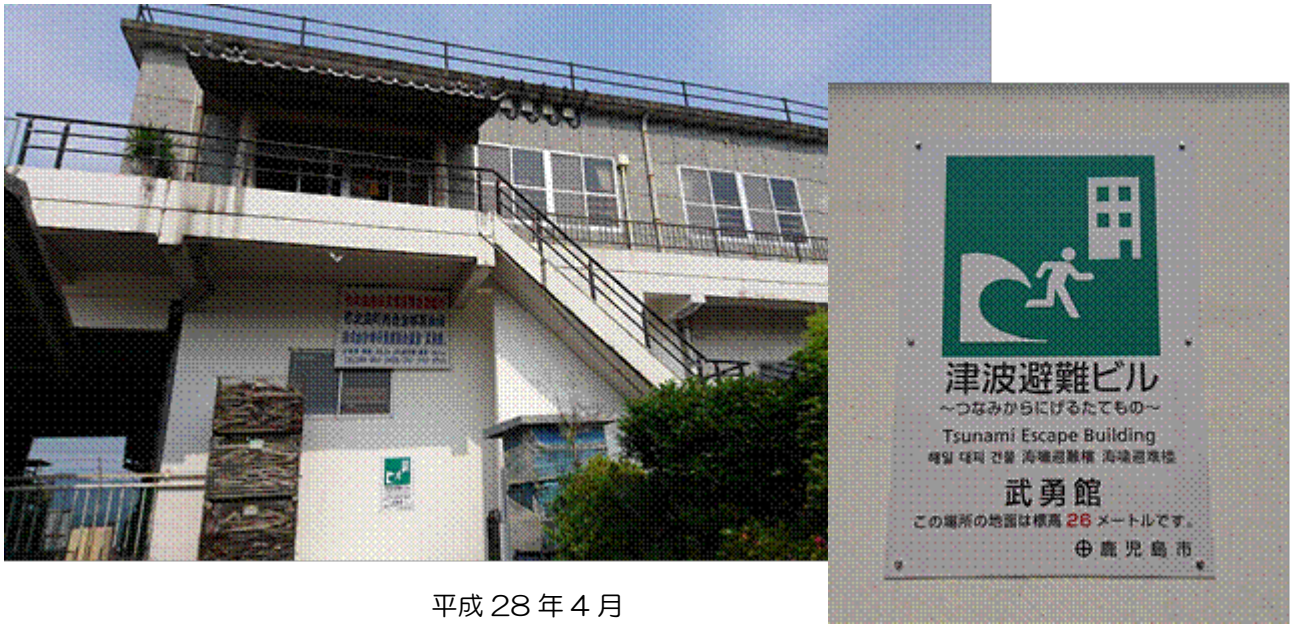
工事現場ごとの環境への取り組みのチェックは細かくチェックすることで環境配慮への意識が高まっています。

地域の環境活動への支援や貢献は、例年通り実施し今年度も地域の方々から評価を頂いています。今後もさらに地域貢献を進めていきます。

今後も社員一人ひとりがエコアクション 21 の活動を通じて、より一層環境問題を理解し、関心を高め、取組みを実践していきます。

１１．環境活動の事例紹介

資材倉庫兼武道館屋上に設置した太陽光パネル（平成 26 年３月設置）



平成 28 年４月
津波発生時における
緊急避難施設に認定

エコドライブを実施

１２．地域貢献

近くの小学校での愛好作業
新型コロナウイルス感染拡大防止対策の影響で中止となっておりましたが、数年ぶりに依頼があり、協力させていただきました。

１３．現場作業の紹介

〇谷山第三地区３号水路整備工事（その５）
　谷山第三地区土地区画整理事業に伴う雨水管きょの新設工事です。

〇鹿児島市交通局併用軌道舗装改修工事（新屋敷交差点）

１５．社内コミュニケーション

新社長就任
令和５年 12 月に代表者が変わりました。
今後とも何卒よろしくお願いいたします。

年４回ある安全祈願祭でのお弁当配布

子供用

大人用

毎年クリスマスにケーキも
配布しています。大好評♪